

赤嶺 謙 一



あかみね けんじ

もっと光を、希望を

**質**

雇用の創出と確保の観点から、地域資源（人・物・力）を生かした小規模起業の支援対策は。

**答** 企画部長

地域からの起業を積極的に促すことは、非常に大切



▲ 地元産サトイモの加工（大野町）

なことであると認識しています。

県や関係機関とも連携しながら、まず起業に取り組みとうとする人材発掘に力をいれたい。

**質**

団塊世代の退職者を受け入れる体制確立は。

**答** 企画部長

定住住宅補助金制度の活用や市内の企業へ呼びかけを行います。

また、就農ガイドセンターを設置し、新規就農の推進をしています。

道路網整備と

交通施策は

**質**

市内中心部と周辺部を結ぶ、道路整備の現状と今後の計画は。

**答** 建設部長

現在、市道の改良率は

47・8%です。道路改良に対する要望が多く、今後も整備を図りたい。

**質**

市内全域を循環する交通体系の整備は。

**答** 企画部長

今の財政状況では難しい。交通弱者といわれる高齢者・子どもを対象に、バス・タクシーなどでの移動手段を検討したい。

佐藤 徳 宣



さとう のりよし

一般廃棄物の

最終処分場建設

**質**

市内で出る一般廃棄物を

市内で処理をすることは当然のことと思うが。

**答** 生活環境部長

清掃センターで排出される焼却灰および残渣は、平成27年3月まで異業種工コタウン事業共同組合（佐伯市）で処理できます。

その後は、市独自で最終処分場が必要になってきます。

旧大野広域連合が決定した旧西部清掃センター跡地を、建設予定地として現在に至っています。

未だ合意に至っていない。今後の取り組みは。

**答** 生活環境部長

これまで協議を重ねてきたが、公害防止協定の一部不履行や県道緒方大野線改良工事の遅れなどを地元から指摘されています。今後、合意が得られるよう努力していきます。

**質**

周辺の水質などに問題はないのか。

**答** 生活環境部長

建設予定地の地元との協議は、すでに10年を経過し、毎年、水質採取検査を実施しており、検査結果も基準値以下で推移しています。



▲ 旧西部清掃センター跡地